

光熱費「0円」

ゼロエネハウスが認定

住宅建設の「住まいのウチイケ」（本社室蘭市八丁平、内池秀光社長）が施工する高気密・高断熱住宅が経済産業省の2014年度（平成26年度）ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ゼロエネハウス）支援事業に認定された。01年（平成13年）の創業以来、「地球環境に優しい家造り」に力を入れる同社が「光熱費ゼロ住宅」のお墨付きを得た。

（山田晃司）



国が定義するゼロエネハウスとは、省エネ性能と創エネ（エネルギーを作り出す）機能を併せ持ち、1次エネルギー（石油、石炭、天然ガス、太陽光など自然界に存在するエネルギー）の年間消費量がゼロ以下になる住宅。認定されると建築主に対し、新築・改築費の2分の1以内、350万円を上限に補助金が交付される。

市山下町で8月上旬に着工し、今月中に完成の予定だ。壁や屋根、基礎に高性能断熱材を使い、省エネの暖房機器、給湯機器を設置。太陽光パネル、光熱費チェックシステム・HEMSなどの創エネ設備を備える。

これらの仕様により、エネルギー使用量と作り出したエネルギー量が相殺され、正味の年間光熱費を差し引きゼロにする。太陽光パネルの発電量が上回ることで「ゼロ以下」にもなるという。内池社長は「13年前の創業時からエコハウス、低炭素住宅の建設に力を入れ、ゼロエネの実現が目標だった。国に認めてもらったことが最高にうれしい。これを励みに、今後も『地球と人に優しい家造り』に全力を注ぎます」と喜びを語っている。

認定された同社の施工住宅は商品名「ecohouse ZERO（エコハウスゼロ）」。

伊達

ゼロエネハウス認定証を手にする内池社長。手前はゼロエネハウスの模型